

LPガスCP情報(2013年10月積み)

1. 10月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 820^{ドル} (前月比 -30^{ドル})

ブタン 850^{ドル} (前月比 -25^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガススポット市場は、在庫積み上げ時期に入ったが、先物市場に先高感がなく様子見で閑散、原油市況に追従して軟化した。タイ、インドネシア等の堅調な需要に支えられた市況も供給は潤沢でタイト感はなく、CP先物指標は第2、3週と大幅続落、第4週も小幅な反発にとどまった。極東CFRスポット市場は月初に930^{ドル}台で推移していたが、第4週にはプロパン854~875^{ドル}、ブタン889~897^{ドル}どころとなっていた。一方、ナフサは直近で918^{ドル}に軟化したものの月間平均で前月比20^{ドル}の上昇、石化用のブタン需要が増加し、ブタン高プロパン安を演出した。フレート市況は上旬74^{ドル}台で推移したが、下旬に軟化した。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン5.3ポイント、ブタン5ポイントの下落、前年同月比ではプロパン22、ブタン12ポイントそれぞれ低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	74.7	72.7	68.9	63.5	70.0
CP先物指標：P	852	832	791	804	820
CP先物指標：B	862	847	816	824	837

② 原油市況等

原油市況をみると、9月レイバーデイ連休明けWTIは108^{ドル}、ドバイ110^{ドル}台でスタート。シリアの化学兵器使用に対する米国の軍事介入が早期に実施されるとの観測から6日には110^{ドル}を突破したが、ロシアがシリアの化学兵器廃棄を国際管理下に行うことを提案、中旬には米ロ外相による協議を経て合意、シリアプレミアムが縮小し、中旬以降は軟化した。米国原油在庫は減少したが(クッシング在庫は12週連続減)、リビア、ナイジェリアの原油生産回復、米国の予算審議の紛糾と財政問題懸念も市況を圧迫した。一方、先物市場をみると、WTIの建玉(総取組高)は18日に193.5万枚の過去最高を記録、大口投機玉ネット買い越しは8週連続で減少しているが32万枚と高水準を維持している。

○9月積みアラビアンライト(9月1~27日まで)は111.47^{ドル}(前月比+2.4^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン913.95^{ドル/トン} ブタン901.42^{ドル/トン}

AL比 プロパン89.72% ブタン94.30%

2. 2013年10~11月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	99.74	81,787	84,779	-3,000	-2,500
26~25日②	100.08	83,600	86,300	+1,000	+2,500
1~31日③	100.23	84,200	86,900	+2,200	+4,100
1~31日④	100.23	83,700	86,400	+1,200	+2,600

*TTS平均は①が9月16日~9月30日まで、②は8月26日~9月25日

③は9月1~30日、④は9月1~30日、①は11月仕切への影響、②~④は、10月仕切適用。③は前月CP3分の2、当月CP3分の1の案分。②、④は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。